

発行日:2017年10月10日

主催:かわさき生活クラブ生活協同組合/神奈川ネットワーク運動・川崎ブロック協議会/食の安全プロジェクト



# 種子法廃止と

# これからの農業

種子の価格  
が値上がり  
するかも...

日本の種子  
が危ない!

日本のTPP協定批准により、政府はその協定に沿って自由化の方向に国内法の整備を進めています。私たちの日本の食を支えてきた米、麦、大豆。これらの「主要農産物」の安定供給をするために、優良な種子の生産・普及を担ってきた種子法(主要農産物種子法)ですが、十分な審議、説明もなく今年の4月国会で「種子法の廃止法」が可決、成立してしまいました。種子法は来年4月からの廃止が決まりました。

法案成立で、日本の種はどうなってしまうのか? 消費者としてできることは何か? 「日本の種子(たね)を守る会」を立ち上げた元農林水産大臣の山田 正彦氏を講師にお呼びして現状と課題をお聞きます。

日時:11月 7日 (火) 13:30~16:00

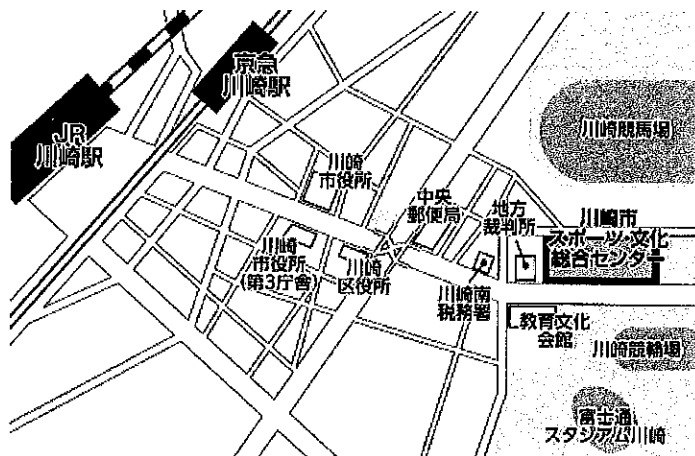
講師:山田正彦氏 (元農林水産大臣・弁護士)

場所:カルッツかわさき (川崎市スポーツ・文化総合センター)

1階 第3・第4大会議室

JR川崎駅 京急川崎駅下車 徒歩15分、川崎市川崎区富士見1-1-4

※参加費無料



お問い合わせ先:

神奈川ネットワーク運動・宮前

FAX 044-750-0949

miyamae-net@kzd.biglobe.ne.jp

